

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 1月

2023.1

0. はじめに

あけましておめでとうございます。2023年が始まって、はや1か月が過ぎました。それぞれの学年で、大きな変化が訪れていますが、保護者の皆様も一緒に、時間をかけて学校の問題について話し合っていたいただきたいと思います。また、報道の通り、**本校野球部が選抜高校野球大会に21世紀枠で出場することが決まりました**ので、家族の話題に加えていただき、学校全体を盛り上げていただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

1. 共通テストの概況について

1月14日（土）・15日（日）の2日間にわたって、第3回大学入学共通テストが実施されました。16日に自己採点が行われ、各高校ごとの集計が県内でまとめられました。その結果、多くの高校で平均点が上昇し、昨年比+40点前後の結果が多くなったようです。（数学の平均点が大幅に上昇したためと思われます。）5教科型の平均点で900点満点中600点を超えた高校は5校ありましたが、本校は県内4番目の成績となりました。また、文理別では、本校の成績が**文系で2番目、理系で5番目の成績**となり、善戦したことがわかります。しかし、総合得点が800点を超えた人数が本県では合計13名しか出ませんでした。隣県では1校で30名を超えている学校も見られました。受験は全国の高校生が相手ですので、気持ちを引き締めて取り組んでもらいたいと思います。また、近年は、「ミスマッチ」によって大学をやめてしまう学生も多くなっておりますので、倍率や知名度だけでなく、本当にやりたいことは何か、研究してみたい分野は何かといった要素を十分にご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 私立大学受験とその変化

少子高齢化が進む我が国ですが、急激な少子化は、受験にも大きな影響を与え始めています。私立大学の定員割れが47％を記録した数年前から、文科省の指導により「定員厳格化」が実施され、いわゆる「水増し合格」が厳しく取りしまられたことは、記憶に新しいと思います。しかし、少子化（とコロナ禍）の影響で、首都圏の私立大学の受験者数が急激に減少したことから、文科省の定めが緩和され、今年から「定員厳格化」のルールが変更されました。その結果、首都圏に位置する多くの大学で「**合格者の増加**」が見込まれています。

昨年度の私立大学の倍率を見ても、首都圏大学のみならず、全国的に定員割れが生じており、主な大学でも昨年比80％台の受験者数になっ大学が多かったことが報道されています。今年の予想においても、GMARCHをはじめとする私立大学では、受験者数が減少すると見込まれておりましたので、注意が必要です。共通テストの予想平均点が上昇したことで、強気の出願が増えると予想されていますが、簡単に諦めず、最後まで第1希望を貫く受験にもメリットがありそうです。受験する作戦を立てる際にも、お子様と十分に話し合う時間を取っていただき、最新の情報に配慮しながらご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

3. 3年生この時期

いよいよ本番です。これまでの努力が結果に結びつき、良い成果が得られることを保護者の皆様と共に心より祈っております。最後までよろしくお願い申し上げます。

さて本格的に受験が始まりますと、そちらにばかり注意が行きそうですが、**卒業に関する大切な連絡**も学校から届けられています。そちらにも十分にご配慮ください。

また2月に入ってから、学校に登校して2次試験や私立大学の入試対策講座に参加している3年生も多いと思いますが、高校入試も始まり、学校に入れない日もありますので、担当の先生方と連絡を密にとって、食い違いがないよう注意してください。

また、学校から**借りている書籍や進路資料の返却**も忘れずにお願いします。受験が終わりますと、新たな下宿先や新生活の準備に追われ、高校のことを忘れがちになりますが、保護者の皆様からのご指導いただきますよう、お願い申し上げます。

4. 2年生この時期

3年生の姿を見ながら、いよいよ自分たちの番が来たと感じ始める時期です。来年のコース希望調査の結果もほぼ固まり、3年生になる準備が着々と進められています。この時期に考えて欲しいことは、まず第1に、各自の希望する進路の特色や他の大学との**違いを調べておく**ことをお勧めします。前述したとおり、現在は**大学生の退学率が非常に高く**なっており、その割合は、偏差値の高い難関大学においても関係なく20％～25％にも達しています。そのミスマッチを防ぐためには、大学入学後の研究活動が、どのようなものかを**あらかじめよく理解しておく**ことが大切です。

昭和の頃の大学とは大きく異なっているため、昔のイメージで選択するのはとても危険です。ぜひ、新たな情報をキャッチして、お子様と十分に話し合い、最善の選択ができますよう、お願い申し上げます。東北大学や筑波大学などの本校生に人気のある国公立大学においても、「自分のやりたいことと違っているから」という理由で退学していくようです。

「入学したら、楽しい大学生活を過ごせる」というイメージは昭和時代の神話となっており、もはや、そんなゆったりとした大学生は就職活動で競争できない時代に突入しています。外国籍の労働者が多数参入し、外資系の企業も増加しています。東京には各国からの移住者が増加し、地域ごとにコミュニティを形成しています。新しい時代に合わせた大学生像をお考えください。そしてお子様の意見を十分にお聞きください。よろしくお願い申し上げます。

5. 1年生この時期

2年生の欄にご紹介しました上記の内容をよくご覧ください。**1年生だから受験に関係ないということではありません**。大学の情報を早期に集めて、準備していただくものが多々あります。高校時代の活動報告書や大学での学修計画書の提出など、1年次から準備していただく書類も多くなっています。3年生になってから頑張れば何とかなる訳ではありません。まずは毎日の授業にしっかり取り組み、定期試験にまじめに取り組むことが大切であることは言うまでもありませんが、今からできることを考えていただき、お子様と話し合う時間を取ってください。よろしくお願い申し上げます。

進路指導部